

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 技研ホールディングス株式会社
コード番号 1443 URL <http://www.giken-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 ベジ
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐々木 ベジ

TEL 03-6635-1839

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,635	2.3	208	10.5	314	7.2	188	0.5
2023年3月期第2四半期	2,697	28.1	188	47.8	293	28.2	187	25.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 656百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 280百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	11.63	
2023年3月期第2四半期	11.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,522	10,175	61.6
2023年3月期	15,725	9,535	60.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,175百万円 2023年3月期 9,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	8.8	400	3.5	500	3.4	320	2.8	19.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	16,237,977 株	2023年3月期	16,237,977 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,899 株	2023年3月期	2,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	16,235,224 株	2023年3月期2Q	16,235,727 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国際情勢の悪化、資源・物価の高騰、実質的な賃金低下など、取り巻く経済環境は依然として厳しい状況で、経済活動の停滞が続いております。

当社グループの主要事業である建設業界におきましては、民間設備投資は一部回復傾向が見られるものの、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇のため受注競争が激化していることにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、社会資本整備の一翼を担う企業集団として、自然災害の復旧支援、医療施設の改修事業等、国民の安全と豊かな暮らしの土台形成のための事業展開を行ってまいりました。

この結果、受注高においては前年度の災害復旧工事による受注高の微増により、受注高は前年同期比14.1%増の2,701百万円、売上高は前年同期比2.3%減の2,635百万円、営業利益は前年同期比10.5%増の208百万円、経常利益は前年同期比7.2%増の314百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比0.5%増の188百万円となりました。

当社グループの前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第2四半期連結累計期間	2,901,643	2,367,754	2,697,412	2,571,986
当第2四半期連結累計期間	2,396,407	2,701,070	2,635,396	2,462,081

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(土木関連事業)

法面保護工事が主体の当事業は、台風や集中豪雨に伴う復旧工事の受注が減少した結果、受注高は前年同期比35.1%減の421百万円となり、売上高は前期繰越工事及び当期受注工事の進捗も伸び悩み、前年同期比49.0%減の364百万円、営業利益におきましては、前年同期比79.4%減の30百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第2四半期連結累計期間	587,171	650,302	714,799	522,674
当第2四半期連結累計期間	255,267	421,907	364,268	312,906

(建築関連事業)

医療施設向けの放射線防護・電磁波シールド工事等が主体の当事業は、新築物件・改修工事等の物件数が増加しており、受注高は前年同期比47.2%増の1,543百万円、売上高は前年同期比19.3%増の1,574百万円、営業利益におきましては、前年同期比36.7%増の180百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第2四半期連結累計期間	2,058,682	1,048,434	1,320,416	1,786,700
当第2四半期連結累計期間	1,949,965	1,543,616	1,574,715	1,918,865

(型枠貸与関連事業)

消波根固ブロック製造用型枠の賃貸及びコンクリート二次製品の販売が主体の当事業は、消波根固ブロックの発注が回復した地域もあり、全体的に発注量が増加したことから、受注高は前年同期比7.6%増の696百万円、売上高は前年同期比3.6%増の645百万円となり、営業利益につきましては、前年同期比142.2%増の142百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第2四半期連結累計期間	148,129	647,633	623,589	172,174
当第2四半期連結累計期間	110,084	696,632	645,954	160,762

(その他)

その他の分野には、不動産賃貸事業、海外での事業等をまとめてその他としております。受注高は前年同期比82.0%増の38百万円、ミャンマーの社会情勢が改善され、海外事業部の売上が増加したため、売上高は前年同期比30.7%増の50百万円、営業利益につきましては前年同期比61.4%減の2百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第2四半期連結累計期間	107,659	21,384	38,606	90,437
当第2四半期連結累計期間	81,090	38,914	50,456	69,547

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、796百万円増加し16,522百万円となりました。増加した主な要因は、投資有価証券の取得、時価の上昇及び土地取得による増加であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、156百万円増加し6,346百万円となりました。増加した主な要因は、未払法人税等の増加であります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加が467百万円あったこと等から、前連結会計年度末に比べ、639百万円増加し10,175百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、1.0ポイント増加し61.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、業績が概ね予想通りに推移しているため、現時点では2023年5月19日に公表いたしました通期の業績予測に変更はありません。なお、業績予想の動向につきましては、引き続き精査を進めてまいりますが、受注動向、事業環境、繰延税金資産の回収可能性等を慎重に見極めつつ業績予想に修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。これらの業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,003,500	2,254,559
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	2,007,177	2,250,112
有価証券	233,921	230,450
棚卸資産	397,537	515,287
その他	36,106	97,528
貸倒引当金	△5,368	△5,218
流動資産合計	5,672,874	5,342,719
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,041,941	4,296,996
その他(純額)	1,452,167	1,465,040
有形固定資産合計	5,494,109	5,762,037
無形固定資産		
その他	115,726	95,130
無形固定資産合計	115,726	95,130
投資その他の資産		
投資有価証券	4,263,806	5,257,555
その他	229,260	124,176
貸倒引当金	△49,863	△59,433
投資その他の資産合計	4,443,203	5,322,299
固定資産合計	10,053,038	11,179,467
資産合計	15,725,913	16,522,186
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,551,034	1,368,130
1年内返済予定の長期借入金	553,055	595,874
未払法人税等	71,588	201,161
契約負債	50,992	40,180
引当金	37,333	52,076
その他	220,849	411,089
流動負債合計	2,484,852	2,668,512
固定負債		
長期借入金	3,566,434	3,448,784
退職給付に係る負債	91,803	106,022
繰延税金負債	1,267	84,720
その他	46,082	38,708
固定負債合計	3,705,587	3,678,234
負債合計	6,190,440	6,346,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	7,087,776	7,260,403
自己株式	△709	△757
株主資本合計	9,680,907	9,853,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△122,270	345,349
退職給付に係る調整累計額	△23,164	△23,396
その他の包括利益累計額合計	△145,434	321,953
純資産合計	9,535,472	10,175,439
負債純資産合計	15,725,913	16,522,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,697,412	2,635,396
売上原価	2,104,316	2,057,334
売上総利益	593,095	578,061
販売費及び一般管理費	404,598	369,803
営業利益	188,497	208,257
営業外収益		
受取利息	105	382
受取配当金	94,004	107,526
助成金収入	15,088	3,082
その他	17,402	24,412
営業外収益合計	126,601	135,404
営業外費用		
支払利息	20,634	25,392
訴訟関連費用	-	4,151
その他	1,452	9
営業外費用合計	22,086	29,554
経常利益	293,011	314,108
特別利益		
固定資産売却益	55	-
特別利益合計	55	-
特別損失		
固定資産除売却損	456	126
特別損失合計	456	126
税金等調整前四半期純利益	292,610	313,981
法人税、住民税及び事業税	92,547	144,510
法人税等調整額	12,152	△19,390
法人税等合計	104,700	125,119
四半期純利益	187,910	188,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,910	188,862

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	187,910	188,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△462,993	467,620
退職給付に係る調整額	△5,559	△231
その他の包括利益合計	△468,552	467,388
四半期包括利益	△280,642	656,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△280,642	656,250
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	292,610	313,981
減価償却費	73,517	73,873
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△116,760	9,419
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,910	16,469
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	873	14,218
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	650	△1,727
受取利息及び受取配当金	△94,110	△107,908
助成金収入	△15,088	△3,082
支払利息	20,634	25,392
訴訟関連損失	-	4,151
為替差損益 (△は益)	△160	△6,048
固定資産除売却損益 (△は益)	400	126
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,391,867	△104,430
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,930	△117,750
仕入債務の増減額 (△は減少)	△427,415	△182,904
契約負債の増減額 (△は減少)	△6,556	△10,811
その他	△58,971	△5,075
小計	1,056,510	△82,105
利息及び配当金の受取額	95,959	107,908
利息の支払額	△20,634	△25,392
助成金の受取額	15,088	3,082
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△60,675	△29,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,086,249	△25,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	160,000
固定資産の取得による支出	△20,196	△314,995
投資有価証券の取得による支出	△511,758	△319,275
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	12,080	-
貸付金の回収による収入	310	280
その他	△5,025	△4,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△524,589	△478,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	150,000
長期借入金の返済による支出	△149,660	△224,831
リース債務の返済による支出	△2,692	△3,141
配当金の支払額	△16,252	△16,226
その他	△744	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,349	△94,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	160	6,048
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	392,470	△592,411
現金及び現金同等物の期首残高	2,800,079	2,087,421
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	60,565	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,253,116	1,495,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたって認識する収益	714,799	1,254,870	-	1,969,669	-	-	1,969,669
一定時点で認識する収益	-	65,546	94,580	160,127	23,579	-	183,706
顧客との契約から生じる収益	714,799	1,320,416	94,580	2,129,796	23,579	-	2,153,376
その他収益	-	-	529,008	529,008	15,026	-	544,035
外部顧客への売上高	714,799	1,320,416	623,589	2,658,805	38,606	-	2,697,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	714,799	1,320,416	623,589	2,658,805	38,606	-	2,697,412
セグメント利益	146,341	132,410	58,988	337,740	5,413	△154,656	188,497

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△154,656千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたって認識する収益	364,268	1,484,648	-	1,848,917	-	-	1,848,917
一定時点で認識する収益	-	90,067	66,623	156,690	18,410	-	175,101
顧客との契約から生じる収益	364,268	1,574,715	66,623	2,005,608	18,410	-	2,024,018
その他収益	-	-	579,331	579,331	32,046	-	611,377
外部顧客への売上高	364,268	1,574,715	645,954	2,584,939	50,456	-	2,635,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	364,268	1,574,715	645,954	2,584,939	50,456	-	2,635,396
セグメント利益	30,104	180,991	142,854	353,951	2,091	△147,785	208,257

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△147,785千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。